



なんきょく こおり 南極の氷はなぜとけないの

なんきょく いちねんじゅう こおり ゆき 南極は一年中、氷と雪におおわれている

なんきょく いちねんじゅう こおり ゆき さむ ちいき たいりく こおり
南極は、一年中、氷と雪におおわれたとても寒い地域で、大陸になっています。氷の
へいきん あつ やく あつ あつ やく こおり
平均の厚さが約2000メートル、いちばん厚いところで、約4500メートルの氷にお
おおわれています。

なんきょく ふゆ あいだ たいよう なつ たいよう いちにちじゅうで
南極では、冬の間は太陽がしずんだままです。夏は太陽が一日中出ている、しずむこ
とはありません。

なつ たいよう たか ひく たいよう う ねつ りょう すく こおり
しかし、夏でも太陽の高さが低いので、太陽から受ける熱の量は少なく、そのうえ、氷
ゆき たいよう ねつ はんしゃ きあん ひく なんきょく なつ
と雪に太陽の熱が反射されてしまうので、気温はひじょうに低くなっています。南極の夏で
も、氷がとける気温までにはなりません。

なんきょく こおり もし、南極の氷がとけたら

なんきょく ちきゅう りくじょう みず ちか おく まんばい こおり
南極には、地球の陸上の水の90パーセント近く、20億トンの1万倍くらいの氷が
あるといわれています。この氷がとけたとすると、海面が約60メートル上がるといわれ
ています。もし、氷がとけてしまったら、海抜60メートル以下の土地は、海の中に入っ
てしまいます。とうきょう うみ
東京も、すっぽり海にしずんでしまいます。

なんきょく こおり ちきゅう たいき うご かた おお えいきょう なんきょく
南極の氷は、地球の大気の動き方に、大きな影響をあたえています。このため、南極
じょうたい し ちきゅうぜんたい きしょう てんきよほう やくだ
の状態を知ることは、地球全体の気象や天気予報に役立っています。(監修・村山 貢司)

